

初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者

化学物質管理目標決定及び達成状況届出書

大阪市長 様

届出日(送付の場合は送付日)を記入。
2022年4月1日

届出者 住所 大阪府大阪市住之江区南港北2丁目1-10
氏名 大阪環境守株式会社
代表取締役社長 環境 太郎
代理人 南港工場長 大阪 一郎

提出日時点の情報を記入

押印は不要

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
大阪府生活環境の保全等に関する条例第81条の25第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

事業所の名称	南港工場		
事業所の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1-10		
管理化学物質の種類	条例24:VOC(揮発性有機化合物)		
	☒ 排出量の削減 ☐ 移動量の削減 ☐ 取扱量の削減 ☐ 有害性の低い物質への代替 ☐ 設備の安全化の対策 ☐ マネジメントシステムの改善 ☐ リスクコミュニケーションの推進 ☐ その他の方法		
化学物質管理目標	管理の改善の方法	実線での囲みの部分を計画初年度(目標決定時)に記入。	
	指標とする項目	1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減	
	指標とする項目に係る目標	上記管理化学物質の大気への排出量を基準年度より削減 1000 kg	
	改善率	10 %の改善 (2021 年度比)	
目標達成年度	2026年度		
目標決定に当たっての考え方	リスク評価の結果、使用量が最も多いVOCの環境リスクが高いことから、VOCを管理目標の対象物質として設定した。指標とする項目に関する削減量については、技術面・費用対効果を検討したうえで実施する対策を決定し、その削減見込量とした。		

揮発性有機化合物(VOC)の年間取扱量が1トン以上の場合は、VOC又はVOCに該当する個別の物質(トルエン、塩化メチレン等)を優先的に選定してください。

排出量等が、概ね生産量に比例し、生産量の変動が大きい事業所については、原単位(排出量/生産量、排出量/取扱量等)での目標設定についてもご検討下さい。

目標を達成するために取組む期間(1サイクル)は、概ね5年程度の期間でお願いします。

削減量が定量化できる場合は、基準年度からの削減量または削減割合を記入してください。

従前から化学物質の適正管理を積極的実施されており、これ以上の排出量等の削減が難しく、「管理の改善の方法」について、排出量等の現状維持やマネジメントシステムの改善を選択した事業所においては、その経緯(これまでの取組等)内容も記載する。

化学物質管理 目標を達成す るための具体 的方策に関す る計画	別紙のとおり	
化学物質管理 目標を達成す るために実施 した対策の内 容	点線での囲みの部分につ いては、計画初年度は記入 不要。	
化学物質管理 目標の達成状 況		
化学物質管理 目標を達成す るために実施 した対策の検 証の結果		
化学物質管理目 標を達成するた めの具体的方策 に関する計画の 変更をしたとき は変更した事項		
本届出について生 産技術上・営業上 の秘密に係る情報 の有無	☐： 無 ☐： 有(秘密とする内容を記載した書類を添付してください。)	
担当者（問い合 わせ先）	部署名	南港工場環境安全部管理第一係
	(ふりがな)	なんこう はなこ
	氏 名	南港 花子
	電話番号	06-6615-7988
	電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇
※受付欄		

備考 ※印の欄には、記載しないこと。

計画内容を変更していない限り、計画初年度より目標達成年度に係る届出においては別紙は変更しない。
※基準年度、計画初年度について、翌年度以降1年ずつ進めてしまう届出書が多くみられます。

年 度	2021 年度 (基準年度)	2022 年度 (計画初年度)	年度 (届出の前年度)	2024 年度 (中間目標年度)	2026 年度 (目標年度)
具体的方策	基準年度を記入。 ※基本的には計画初年度の前年度とする。		計画を初めて提出する年度を記入		目標達成年度を記入 (基本的に5年後とする)
	目標の達成に向け、事業所の実態を踏まえた上で検討した具体的方策を記載してください。(以下、記載例) ○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制 ○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備 ○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減 ○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制 ○モニタリングによる監視(排ガス、排水、敷地境界濃度等)の強化 ○リスクコミュニケーションの実施(住民説明会の実施) ○その他の改善対策(具体的に記入)				
		○各洗浄工程の現状を把握し、洗浄の必要性、清浄度の基準、洗浄剤交換時期等を点検する。 ○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○運転・操作手順書を作成し、作業員へ手順を周知する。		○各洗浄工程の洗浄の必要性、清浄度の基準、洗浄剤交換時期等を点検する。 ○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○運転・操作手順書の見直しを必要に応じて行う。	○運転・操作方法の改善(装置周辺の風の減少、ドゥエル方法の検討、被洗浄物による持出量削減)を検討・実施する。 ○洗浄装置の改造(フリーボード高さ、冷却水温度等)を検討・実施する。
指標とする項目 〔VOCの大気への排出量の削減量〕	【実績値】 大気への排出量 10,000kg/年	【計画値】 大気への排出量 9,500kg/年 基準年度から500kg削減	-	【計画値】 大気への排出量 9,300kg/年 基準年度から700kg削減	【目標値】 大気への排出量 9,000kg/年 基準年度から1,000kg削減
改善率	_____	5.0 %	%	7.0 %	10.0 %

備考 1 改善率は、指標とする項目を数値化できる場合に記入する。
2 改善率は、次に示す例により計算して記入する。
例 指標とする項目が「化学物質の排出量」の場合 〔(基準年度の排出量－当該年度の排出量) / 基準年度の排出量〕 × 100%